

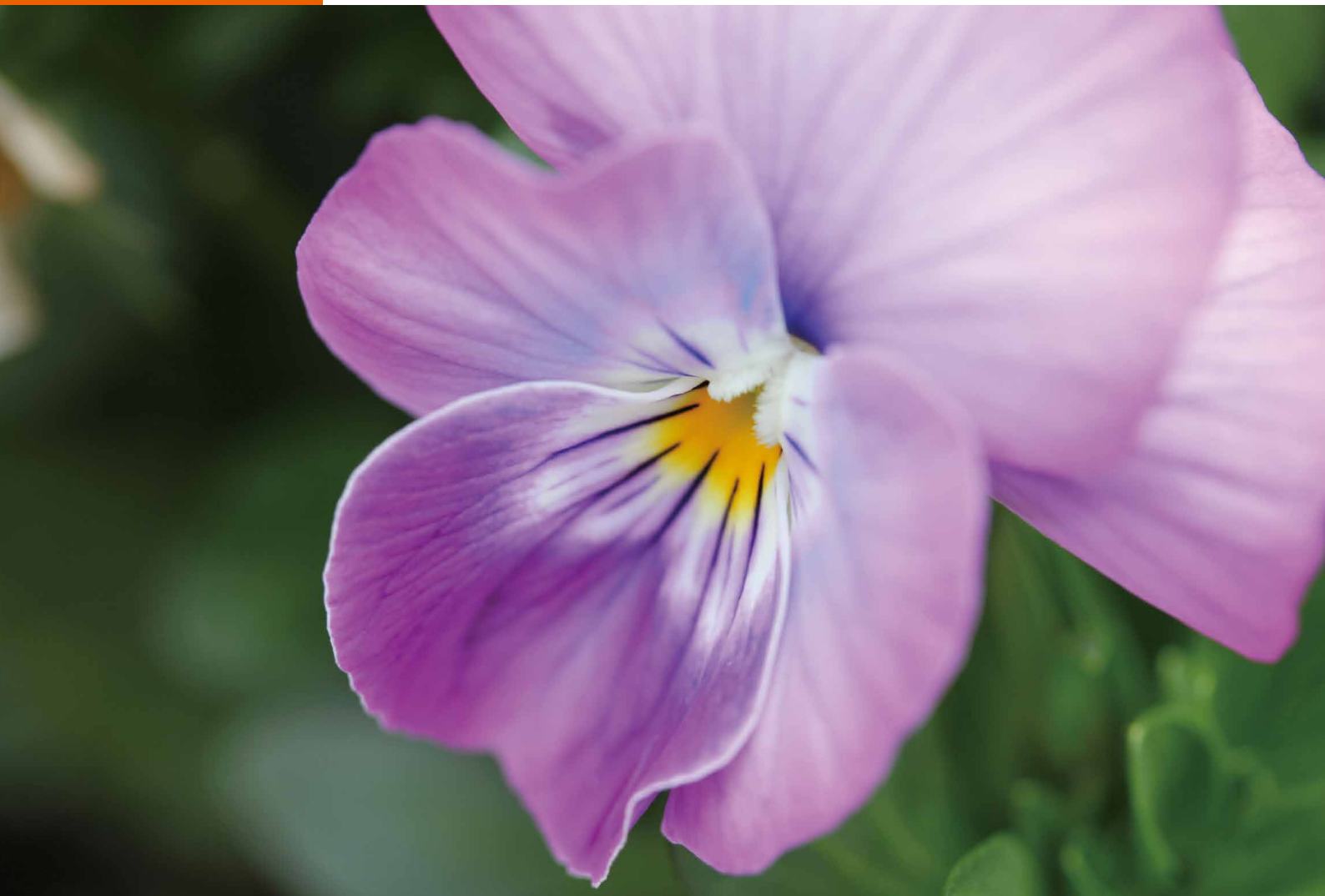
Vol.8

2014 January

みんなの未来を守る健康診断
Ibaraki Health Service Association

けんこうリンク

公益財団法人 茨城県総合健診協会 機関誌



Vol.8 CONTENTS

Message

新年のご挨拶

公益財団法人 茨城県総合健診協会 会長 山口 巖

特集

ご用心! 冬に流行するノロウイルス

Topics

・各種がん検診追跡調査結果報告

Information

- ・当協会技術系職員の保有資格について
- ・複十字シール運動にご協力ありがとうございました!
- ・プライバシーマーク認定更新審査結果

各部門めぐり ~情報管理課~



けんこうリンク

公益財団法人 茨城県総合健診協会

平成26年

新年のご挨拶

公益財団法人
茨城県総合健診協会

会長 山口 巖

皆様方には、日頃から当協会の事業運営に格別のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は日本経済復活を目指したアベノミクス効果が期待された年であり、2020年東京オリンピック開催決定など明るい大きな話題がありました。一方で、一流ホテルや老舗百貨店の食材偽装問題など、サービス提供者と利用者との関係において、信頼性を揺るがす事件が相次いで発生したことは忘れられません。

東京オリンピック招致の際の「おもてなし」という言葉は流行語にもなり、日本人は素晴らしいと世界中から絶賛されました。それらの記憶と今回の大企業等が起したモラルの低い事件を見ていると、違和感を覚えずにはいられません。

これらの事件に共通するところは、顧客を無視した目先だけの利益優先、企業のご都合主義になっていたと思われる。しかし、近年のデフレ下の競争、入札等に材料費の高騰も重なり、年ごとに価格引き下げを業者側は求められるなかで、無理やり価格を安くするには、人員削減や品質を落とすなどの措置を講じなくてはならないといった矛盾が起きています。健診においても部では過剰な価格競争が発生しており、同様な事件や人身事故発生が危惧されるようになっていす。

私どもは県内の健診機関では唯一、顧客に品質のよいモノやサービスを提供すること、つまり「品質管理」と「顧客満足」を目的とした、国際品質保証規格「ISO9001」取得機関となっております。加えて、個人情報保護体制が確立されている組織と評価された、「プライバシーマーク」認証機関でもあります。引き続きこれらの外部評価の維持により、安心と信頼性を兼ね備えたサービスを皆様にお届けできるよう力を注いでまいります。

さらに、県民から最も必要とされる健康支援機関の実現に向け、本年も品質方針の二つである、「常に明るく、誠実に、思いやりのある優しい心を持って、受診者に信頼される健診・検査を提供します。」という志を強く堅持することにも、「ニーズを迅速・的確に把握し、常に創意工夫改善に取り組んでまいります。」

また、県立健康プラザの事業において、「シルバーハビリ体操」の指導士養成事業が昨年お陰様で10周年という節目を迎えました。指導士の方々には、県民の健康寿命延伸のため、これから益々のご活躍を期待しております。

最後に、本年は「予防医学事業推進全国大会」を本県で開催することが決定しております。この大会は、予防医学事業中央会と支部組織である当協会が主催するもので、本県で開催されることは、今後の予防医学の推進や気運醸成などの弾みになるものと期待しているところです。

また、この大会を通じて参加者が、健診に関心を持ち健診を正しく理解して、健康保持増進活動の重要性について改めて認識していただく機会を提供できるような10月の本大会開催に向け、準備を着実に進めているところでございます。

私は、これらの取り組みとあわせ、公益法人としての社会的責務を果たすべく、健全な事業経営に取り組み、地域社会に還元できるような全力を尽くしてまいりますので、本年も何卒ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



特集

ご用心!

冬に流行するノロウイルス



ノロウイルスの症状

ひとたび体内に入り込むと腸管内等を住処に増殖が始まり、およそ24〜48時間の潜伏期間（感染から発症までの時間）を経て様々な症状を引き起こします。

主な症状としては、強い吐き気、嘔吐・下痢、腹痛及び微熱（37℃〜38℃程度）が挙げられます。通常、これらの症状が1〜2日間続いた後に治癒し、後遺症もありません。また、感染しても症状が出ないときや一部の症状しか出ないときがあります。しかし、免疫力の弱い小さなお子様や高齢者の方は感染すると脱水症状なども引き起こし、稀に重症化してしまうケースもありますので、特に注意ください。

ノロウイルスの感染経路

ノロウイルスは、主に経口感染により体内に入り込み、人間の消化器へと感染します。考えうる感染ケースとしては、大きく2つの感染経路が考えられます。以下に示す経路1は食中毒で、経路2は感染症として扱われます。

【経路1】飲食物からの感染（食中毒）

- ① 人の糞便中のノロウイルスが、下水を経て川から海へ運ばれ、二枚貝（牡蠣等）に含まれている場合があります（に蓄積され、それを生あるいは十分に加熱調理しないで食べた場合）
- ② 食品取扱者（食品製造等の従事者、飲食店の調理従事者など）が感染しており、その者を

ノロウイルスの特徴

ノロウイルスは、年間を通して感染者がみられますが、特に危険なシーズンは「冬」とされており、11月から3月の間に多発します。（表1）他のウイルスと比べ、ノロウイルスには次のような特徴があります。

○消毒薬に対する抵抗性が強い

ノロウイルスは、アルコールや高温に対する抵抗性が強いことが特徴です。また、乾燥や酸にも強く、水中でも長時間生きることができ、非常に厄介なウイルスです。

○下痢だけではなく、嘔吐が多い

ノロウイルスは下痢だけではなく嘔吐を引き起こすことが特徴です。下痢の場合には、トイレで流されるためウイルスが広がりにくいのですが、嘔吐の場合、適切に処理及び消毒をしないとウイルスが床に残ります。乾燥しホコリと共に空气中に舞い上がり感染が広がっていくこともあります。

○何度も感染することがある

ノロウイルスには様々な遺伝子型が存在するため、その型が違えば何度も感染してしまいます。また、腸粘膜での局所感染のため免疫を獲得しても持続時間が短いため、回復してもすぐに再感染を繰り返すこともあります。一度かかったからといって安心は禁物です。

ウイルスと細菌の違い

毎年、年が明けるとインフルエンザの流行を迎えます。そのインフルエンザとともに、冬はノロウイルスによる感染性胃腸炎の流行時期でもあり、今年も集団感染のニュースがたびたび報道されています。今回は、冬に発生する食中毒事故の主な原因でもあるノロウイルスについてご紹介します。

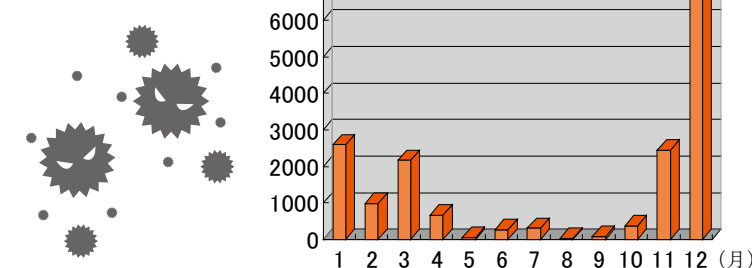
ウイルスと細菌は同じと勘違いしている人がいますが、ウイルスの二種であるノロウイルスは、自ら増殖していく細菌類とは違い、自然に単体で増殖することはできず、生き残るための細胞が必要となります。

また、ウイルスに対する有効な抗ウイルス剤は限られており、感染予防のためにはワクチンが頼りですが、現在のところ、このノロウイルスに関しては抗ウイルス剤や予防ワクチンはなく、対処療法で治すしかありません。感染しないためには、日頃から手を洗い、予防することがとても大切であり、「感染源」をよく知っておく必要があります。

〔主な相違点〕

	細菌	ウイルス
大きさ	1〜5μm (マイクロメートル=1mmの1000分の1)	ほぼ300nm以下 (ナノメートル=1mmの100万分の1)
構造	単細胞生物	細胞を持っていない
主な病原体	サルモネラ菌、赤痢菌、大腸菌、結核菌など	ノロウイルス、ヘルペスウイルス、エイズウイルスなど
治療	抗生物質が有効	細胞の内部に侵入してしまうため直接的に攻撃することが難しい

〔表1〕平成24年ノロウイルスの年間発生状況（患者人数）



介して汚染した食品を食べた場合

③ ノロウイルスに汚染された井戸水や簡易水道を消毒不十分で摂取した場合

【経路②】ヒトからヒトへ

感染者のウイルスが大量に含まれる便や嘔吐物が原因となり感染する場合(接触感染・飛沫感染・塵埃感染)

ノロウイルスによる

食中毒予防法

食品等に付着している。目には見えないノロウイルスをどうやって退治回避すれば良いのでしょうか。それは食品をよく加熱することです。

一般的にウイルスは熱に弱く、加熱処理をすることでノロウイルスの活動をなくすことができます。これを「失活化」といいますが、ノロウイルスは多少の熱では失活化することはないとされています。食品の国際基準を作る機関「コーデックス委員会」によると、二枚目の加熱調理で

感染症予防の基本は 手洗いです!

POINT 1

手のひらをよくこすり合わせましょう。



POINT 2

手の甲も同じようにしっかりと洗いましょう。



POINT 3

指先を洗うときは、手のひらを掻くように、爪の中まで入念に。



POINT 4

指の間等、洗い残しがないようにしましょう。



POINT 5

親指もよく洗い、手の平ももう一度!



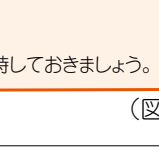
POINT 6

最後は手首を洗い、よく水で洗い落としましょう。



POINT 7

手拭タオルの衛生も保持しておきましょう。



(図1)

ウイルスを失活させるには、中心部が85℃～90℃で少なくとも90秒間の加熱が必要としています(食品中のウイルスの制御のための食品衛生一般原則の適用に関するガイドライン参照)。このガイドラインに基づき、日本における「大量調理施設衛生管理マニュアル」にも同様のことが記載されています。

二次感染を予防するには

環境面から予防策を講じるのであれば、しっかりと手を洗うことや、食器・調理器具を清潔にしておくことを徹底しなければなりません(図1)。ノロウイルスは、感染力が非常に強く、ドアノブやカーテン、その他日用品から検出されるケースが多々ありますので、常に生活環境を清潔に保ち、もし消毒が必要な場合には、次亜塩素酸ナトリウム(塩素濃度約0.02%)を用いて消毒しましょう。市販の塩素系消毒剤や漂白剤は6%程度の濃度です。空のペットボトル(2ℓ)などを用いてつるると便利です(表2)。

●0.02% (200ppm) 次亜塩素酸ナトリウムの作り方

原液が6%の場合

ペットボトルキャップ2杯弱の原液を水で2ℓに希釈する。
→食器、衣類などの消毒に用いてください。

●0.1% (1000ppm) 次亜塩素酸ナトリウムの作り方

原液が6%の場合

ペットボトルキャップ8杯強の原液を水で2ℓに希釈する。
→糞便や嘔吐物などの汚物を除去した後に用いてください。

(表2) 消毒液の作り方

ただし、加熱する場合と違い、次亜塩素酸ナトリウムを用いた消毒は漂白効果や金属腐食効果が伴いますので、ご注意ください。

また、身近に感染者が出た場合は、非常に感染する危険が高まります。蔓延を防ぐ点からも、患者の嘔吐物等や便の処理をする時は、必ず使い捨てのエプロン、マスク、手袋を着用し、汚物中のウイルスが飛散しないよう、ペーパータオル等で取り除き、次亜塩素酸ナトリウムを用いしつ

ノロウイルス感染症を予防しよう!

ノロウイルス感染症患者の便や嘔吐物中には大量のノロウイルスが存在します。

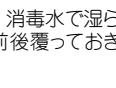
処理の前に...



- ・帽子 髪の毛にウイルス等が付着させないために欠かせません。
- ・マスク 口からの感染を防ぐため、必ず装着しましょう。
- ・ゴーグル 目を守るために、ゴーグル等の着用も有効です。処理を行う際に、ウイルスが衣類へ付着することを防ぐために着用しましょう。
- ・使い捨て手袋 手をウイルスから守り、ウイルスの拡散や二次感染を防ぎましょう。
- ・靴カバー 地面にはウイルスが蔓延しているため、可能な限りガードしましょう。

【床などに飛び散った患者の嘔吐物の処理方法】

- ① バケツに消毒液を作っておき、新聞紙やタオル等を濡しましょう。
 - ② 新聞紙で汚物を取り除き、タオルで拭きましょう。
 - ③ 使用した新聞紙、タオルは速やかに袋に入れて、口を強く締めましょう。
 - ④ 汚物を入れた袋を、さらに2枚目の袋へ入れましょう。
 - ⑤ 使用した手袋等も一緒に袋へ入れ、固く袋の口を締めましょう。
 - ⑥ 汚物を拭き取った床は、消毒水で湿らせたタオル等で30分前後覆っておきましょう。
- ⑦必ず、うがい・手洗いをしてから、処理作業を終了しましょう。



りと床を拭き取りましょう(図2)。ウイルスは乾燥すると空気中に舞い上がるので、外に追い出すためしっかりと換気することも大切です。

診断方法

ノロウイルスによる病気がどうかは、臨床症状からだけでは特定できません。当協会では、糞便中のノロウイルスを検査キットで検出する「ノロウイルス抗原検査」を行っています。県内においても、保育所や幼稚園などを中心に集団発生件数が増加していますので、二次感染対策としてご利用ください。

詳しくは担当課まで(当協会内 渉外課 TEL 029-241-0542)

おわりに

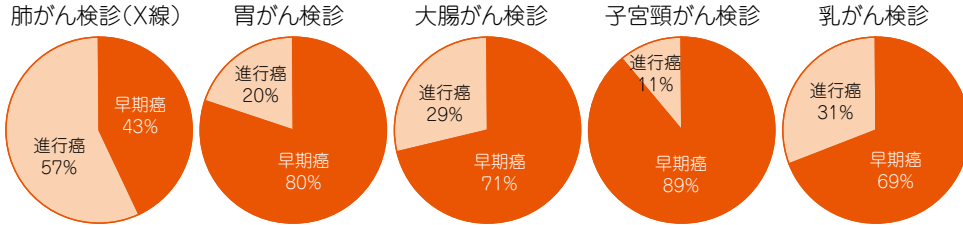
最後に、ノロウイルスによる死亡事故も発生するなど、悔しいことのできない感染症であり、非常に感染力の強いウイルスであることを忘れないうください。また、食品取扱者の皆様は、くれぐれも保菌者になることがないように、一人ひとりが注意を払い蔓延防止に努めてください。糞便や嘔吐物などを処理するときには、「すべにふき取る」「乾燥させない」「消毒する」の3原則を守り、感染症に負けないようにこの冬をお過ごしください。

平成24年度 各種がん検診追跡調査結果報告

当協会における平成24年度地域保健がん検診追跡調査結果がまとまりましたので報告します。

(表1)

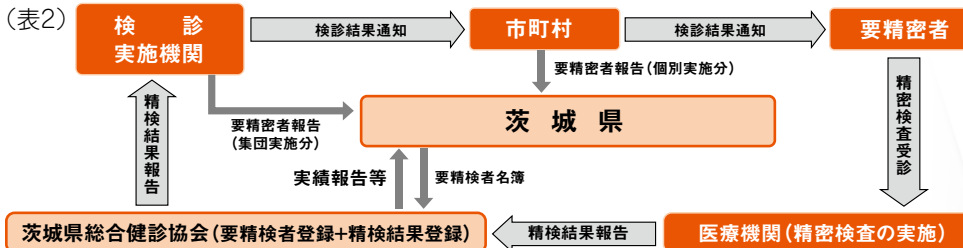
検査項目	肺がん		胃がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん			前立腺がん	腹部超音波
	X線	喀痰				視触診	マンモ	超音波		
受診者数	185,146	3,176	80,871	137,013	93,461	5,874	33,824	29,970	44,994	13,685
要精検者数 要精検率(%)	5,718 (3.1)	7 (0.2)	8,689 (10.7)	9,508 (6.9)	2,065 (2.2)	27 (0.5)	1,659 (4.9)	1,016 (3.4)	2,916 (6.5)	858 (6.3)
精検受診者数 精検受診率(%)	4,888 (85.5)	7 (100)	7,257 (83.5)	6,927 (72.9)	1,819 (88.1)	23 (85.2)	1,559 (94)	939 (92.4)	1,987 (68.1)	665 (77.5)
がん発見数 がん発見率(%)	122 (0.07)	2 (0.06)	117 (0.14)	251 (0.18)	64 (0.07)	2 (0.03)	73 (0.22)	38 (0.13)	164 (0.36)	7 (0.05)
陽性反応適中度(%)	2.5	28.6	1.6	3.6	3.5	8.70	4.7	4.1	8.3	1.1



がん検診の事業評価に対する取り組み

茨城県では、検診の効率及び効果の評価資料となる精密検査データを集約するため、「がん検診追跡調査等事業」を行っています。この事業は、当協会が茨城県から委託を受け実施するもので、県医師会及び精密検査医療機関の協力のもとに、県及び市町村と連携し、がん検診の要精密検査者並びに精密検査結果を収集のうえ登録管理しています(表2)。

さらに、茨城県が定める「がん検診実施指針」において、検診実施機関は、精密検査医療機関で行われた精密検査の結果から「がん」又は「がんの疑い」と判定された症例を対象に、「主治医から「手術・治療レポート」と呼ばれる記録を収集し、検診記録と同様に保管及び管理することとされています。この事業は、当協会が独自に実施するものであり、とても重要な業務として位置付け取り組んでいます。この「手術・治療レポート」を収集することで、最終診断の確認を行い、本当に「がん」であったのか、「早期がん」だったのか、その他にも「大きさ」や「組織型」



など多くの情報を集め、さきほど御紹介した、「精密検査結果追跡調査データ」と突き合わせることにより、検診精度の分析評価を行い、検診の質の向上を図っています。

「要精密」と判定された方へのお願い

平成24年度の実績からは、全体で「要精密」と判定された方のうち約20%にあたる方、約5人に1人が精密検査を受けていません。しかし、この中にがんと診断される可能性のある方が、およそ200名いる恐れがあります。せっかく、がんを早期に発見する好機を逃すことにもなりかねないため、検診を受けた意味をなさなくなってしまう。一度精密検査が必要と判定された方は、自

己判断することなく、必ず専門の医療機関を受診してください。

検診の目的達成に向けて

がん検診の目的を達成するためには以下の3つの点に着目する必要があります。

- ① 死亡率を下げるのが科学的に証明された検診を実施すること
 - ② 精度の高い検診を実施すること
 - ③ 受診率を向上させること
- 当協会は目的達成に向け、多くの方々に検診を受けていただきたいと考えていますので、引き続き調査研究を進め、精度の高い検診を提供できるように邁進していきます。

検診事業評価指標

- ① **要精検率**
がん検診受診者のうち、精密検査が必要とされた者(要精検者)の割合
この割合は高くても低くてもダメな訳で、異常所見を正しくチェックしているかどうか重要です。検診受診者層に高齢者や初回受診者が多い場合には、すでに病気がかかっている割合が高いことから、要精検率も高くなります。一方、若年層や経年受診者割合が高ければ、逆に要精検率は低くなります。また、受診者数の少ない場合、要精検率の変動が大きくなります。
【求め方】 $\text{要精検率} = (\text{要精検者数} / \text{受診者数}) \times 100$
- ② **精検受診率**
要精検者のうち、精密検査を受けた者の割合
この割合は高いことが望ましく、精密検査の必要ありと指示された方が専門の精密検査医療機関で正しく診断を受けていることが大変重要となります。精密検査を受けなかった方(精検未受診者)や、精検の結果が把握されていない方(精検結果未把握者)が多い場合は、精検受診率が低くなります。
【求め方】 $\text{精検受診率} = (\text{精密検査受診者数} / \text{要精検者数}) \times 100$
- ③ **陽性反応適中度**
要精検者のうち、がんが発見された者の割合
この割合は基本的には高いことが望ましく、精密検査でどのくらい本当にがんが見つかるか、といった指標になります。しかし、この指標は、要精検者を分母としますが精密検査を受診しない方も大勢いることから、当協会が用いる陽性反応適中度は従来より、分母を精検受診者数として算出し検証しています。
【求め方】 $\text{陽性反応適中度} = (\text{癌発見数} / \text{精検受診者数}) \times 100$
- ④ **その他**
その他にも癌発見率や早期癌割合など評価する指標はたくさんあり、特に早期発見を目指す検診は、早期癌の割合が低い場合、検診機関だけの問題ではなく精密検査実施機関において、がんを早期かつ適切に発見できていない可能性もあるため、その辺りをよく検証する必要があります。

各部門 めぐり

各課紹介 第5弾

情報管理課

組織及び人員

情報管理課は、受診者情報や健診結果情報の管理を行う部署であり、事務24名、電算8名の計32名のスタッフ体制で業務に従事しています。

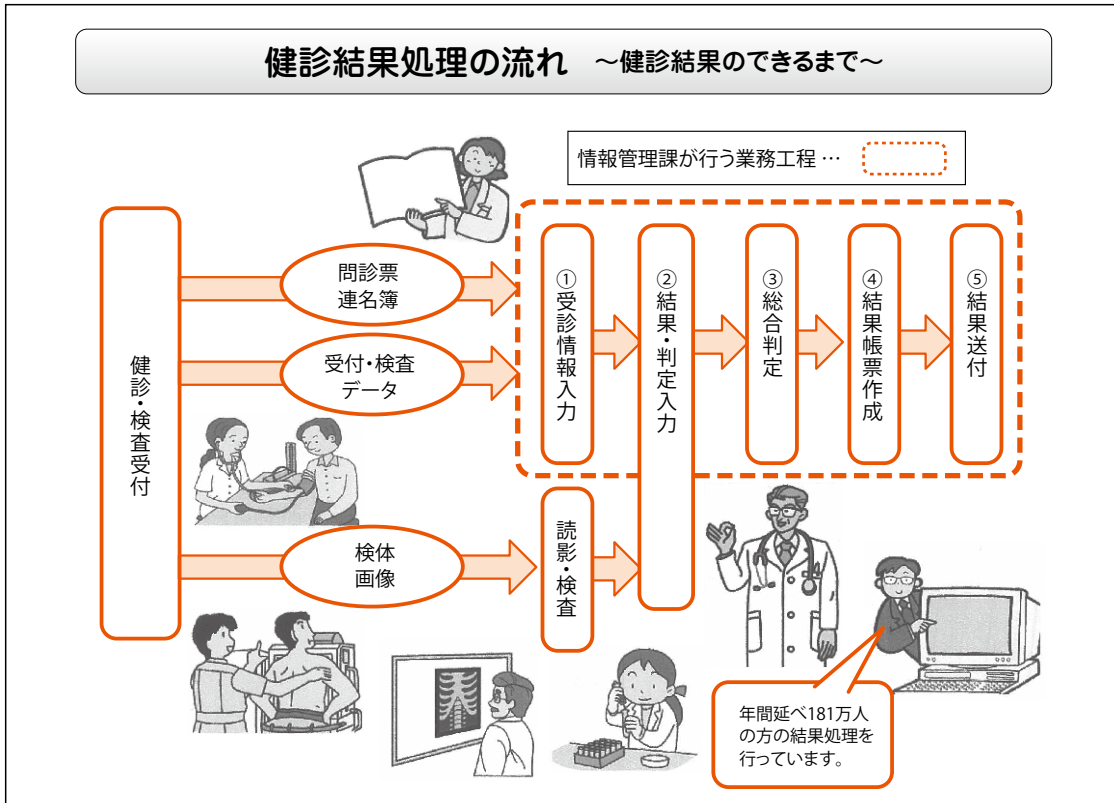
業務内容

情報管理課では、皆様の健康管理をお手伝いさせていただくため、大きく3つの業務にあたっています。1つ目は、健診の結果処理業務、2つ目は、電算システムの維持管理開発業務、3つ目は、事業年報統計の作成業務です。

◆健診・検査の結果処理

情報管理課の業務の中で最も主要な業務であり、主に次の工程から構成されます。

- ① 健診や検体提出時にお預かりした問診票や受付データの情報入力
 - ② 読影結果 検査結果の入力
 - ③ 総合判定
 - ④ 個人結果票等の結果帳票作成
 - ⑤ 結果送付
- 下図のとおり、これらの工程を経て、健診結果が出来上がります。



健診結果処理の工程については、コンピュータによる管理を行っています。各種健(検)診ごとの各工程について進捗状況の確認を行い、健診結果処理の円滑化に努めています。健診結果は、当協会が提供する健診サービスの最終成果物でもあり、遅延や誤送付がないよう毎日が苦勞の連続です。

しかし、自分たちの成果が形になり、実際に受診された方のお手元に健診結果が届き、特定保健指導や生活習慣の改善または治療などに活用されているところを見ると、苦勞だけの充実感を覚えます。

◆電算システムの維持管理・開発

電算システムは、各種結果帳票や結果媒体の作成、予約データの作成を行うなど、さまざまな電算処理業務を行っており、重要な役割を担っています。

また、OA機器をはじめネットワーク機器の管理を行っており、外部からの不正アクセスやコンピュータウイルス被害に対する予防措置を行うとともに、USBメモリ・CD・DVDカード等の電子記録媒体についても、情報管理課で安全が確認された後、使用しています。

開発面におきましては、本年度は子宮がん検診におけるベセスタシステムの導入・HPV検査への対応や先天性代謝異常等検査におけるタンデム法導入等を行いました。

電算システムは、制度や検査方法基準値等の変更時には、システムの

開発や修正を行い、各種健(検)診に適正に対応した運用を行っています。

◆事業年報・統計の作成

健診実績をまとめ、事業年報や統計データを作成しています。

事業年報については、市町村等関係機関の皆さまに配布させていただきます。

保健指導や予防医学事業の啓発等に活用していただいています。



大切な情報を管理するために

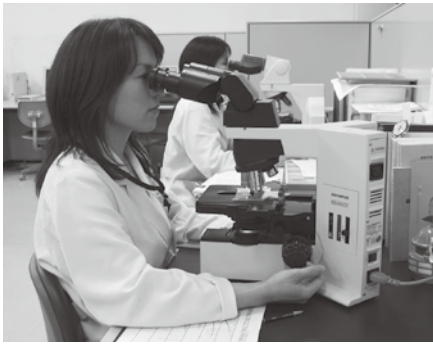
健診情報については、個人情報保護管理規程及びISO品質マニュアルに基づき、厳正な管理を行っています。またコンピュータは、外部ネットワークとは遮断された独立したシステムにより厳重に管理しています。

メッセージ

情報管理課の業務は、セキュリティに守られた環境下で行うため、受診者の方々と直接お会いすることはできませんが、一人一人を想い、正確かつ迅速な結果処理を心掛けています。健診結果を一日でも早くお届けできるよう課員一同努力してまいります。

当協会技術系職員
保有資格について

(公社)日本臨床細胞学会及び(社)日本臨床検査医学会が実施している細胞検査士認定試験の合格発表が12月に行われ、当協会検査一課の加藤 伸江技師が合格しました。この試験は「一次試験(筆記試験)」と「二次試験(実技試験)」があり、最終的な合格率は例年20%台となっています。資格取得後は、4年ごとに更新審査があり、そのために学術集会や研修会等に積極的に参加して、常に高いレベルで細胞判定能力を維持する必要があります。新たな心強い戦力が加わったことで、当協会の細胞検査技士は延べ16名となりました。



顕微鏡で細胞を観察

その他にも、学会等が認定する専門資格を保有している職員が多数います。(表)

今後、も疾病の早期発見に貢献し、安心、安全な検診をお届けするため、職員一人ひとりが日々研鑽を重ね、能力の向上に努めていきます。

表 当協会技術系職員の資格保有状況

資格名	認定機関	取得者数
細胞検査士	(公社)日本臨床細胞学会 (一社)日本臨床検査医学会	16名
二級甲類臨床病理技術士(病理)	(一社)日本臨床検査医学会	4名
検診マンモグラフィ撮影認定技師	NPO法人 日本乳がん検診精度管理中央機構	5名
超音波検査士(健診)	(一社)日本超音波医学会	7名
胃がん検診専門技師	(一社)日本消化器がん検診学会	8名
胃がんX線検診技術部門B	NPO法人 日本消化器がん検診精度管理評価機構	8名
胃がんX線検診読影部門B	NPO法人 日本消化器がん検診精度管理評価機構	5名

複十字シール運動にご協力
ありがとうございました!

結核や肺がんをはじめとした、胸部の疾患をなくすための募金活動である複十字シール運動募金に、今年もたくさんのご協力ご寄付を賜り、誠にありがとうございました。結核は、国民の意識から薄れつつありますが、いまだ油断のならない日本でも重大な恐ろしい感染症に変わりありません。私たちは、複十字シール運動を通じ、結核撲滅のため、結核の正しい知識の普及啓発活動をこれからも推進してまいりますので、今後とも皆様からの暖かいご支援ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

【募金の主な使途】

皆様からご協力いただいた募金は、結核の教育広報、結核の研究調査、発展途上国への結核対策支援など、多岐に渡り活用させていただきます。

ご協力いただいた方々(※順不同、敬称略)

◇個人

茨城県健康をまもる女性団体連絡会北茨城市会長
 〃 筑西市 会長
 〃 日立市 会長
 〃 取手市 会長
 〃 笠間市 会長

高村 博明

◇市町村

笠間市役所

◇企業・団体

真言宗豊山派能円寺
株式会社トレジャー保険



※この他、たくさんの方々から多大なるご支援をいただきましたが、紙面の都合上、3万円以上の募金者のみを掲載させていただいております。

複十字シール募金総額

1,894,785円(12月現在)

募金方法

募金は、年間を通じて受付けております。お電話をいただければ、手数料が免除になる振込用紙を送付させていただきます。
(問い合わせ先) 総務課 Tel. 029(241)0011(内線114)

プライバシーマーク認定
更新審査結果

このたび、「一般財団法人日本情報経済社会推進協会(J-PDEC)」より「プライバシーマーク」(Pマーク)の更新認定を受けましたのでお知らせします。

このプライバシーマーク制度は、日本工業規格「JIS Q 15000 1・2006(個人情報保護マネジメントシステム要求事項)」に準拠した適切な個人情報保護体制が整備された事業者を、第三者機関であるJ-PDECが認定し、その証としてプライバシーマークと称するロゴの使用を許諾する制度です。

平成17年に県内の保健医療機関で初めて「プライバシーマーク」の付与認定を受けて以降、今回が5度目の認定となります。

また、更新にあたっては2年毎に更新審査が行われ、書類審査や現地審査、運用方法など厳しい審査を受けなければなりません。

個人情報情報の漏洩や紛失事故が多発するなど、情報セキュリティ等への不安が高まるなか、当協会では、皆様への大切な個人情報と安心・安全な環境でお預かりしています。今後も、個人情報保護法の遵守はもとより、情報セキュリティ対策の強化並びに職員に対する指導など、個人情報保護活動を継続的に推進し、より「層」安心していただけるサービスの提供に努めてまいります。



編集後記

2020年夏季オリンピックの開催地が東京に決定しました。スポーツとはまるで無縁な慢性運動不足な私。世間一般でいう中高年の年齢になり、周りの同世代を見渡すとほっこりお腹の人が多く感じるようになり、仲間入りしたくないと念発起。気になりだすとダイエット関係の書籍や情報に敏感になり、その情報量の多さに驚きました。その中から実践可能なものとして、体重を毎日測り、食事を調整することにしました。今年は、さらに運動にチャレンジしたいと思えます。誓いを実現するためには、明確な目標設定、一緒に行動心援してくれる人がいる事が重要なようです。公表しちゃう、きつと誰かが応援してくれるでしょう。(M.T.)





けんこうリンク

公益財団法人 茨城県総合健診協会

〒310-8501 水戸市笠原町489-5

TEL 029-241-0011(代) FAX 029-241-0332

【全国組織】

(公財)結核予防会茨城県支部

(公財)日本対がん協会茨城県支部

(公財)予防医学事業中央会茨城県支部

【施設認定】

労働衛生サービス機能評価機構認定施設

国際品質保証規格ISO9001:2008認証取得

プライバシーマーク認証取得



<input type="checkbox"/> 県西センター	〒308-0125 筑西市関本分中37-1	TEL 0296-20-3480	FAX 0296-20-3482
<input type="checkbox"/> 県南センター	〒300-0025 土浦市手野町1-1	TEL 029-830-3355	FAX 029-828-0985
<input type="checkbox"/> 茨城県立健康プラザ	〒310-0852 水戸市笠原町993-2	TEL 029-243-4171	FAX 029-243-9785

個人情報保護に関するお知らせ

当協会では、機関紙「けんこうリンク」の発行に関わるみなさまの個人情報を、同紙の送付以外には使用いたしません。次回以降、送付をご希望されない場合は、経営企画室までご連絡くださいますよう、お願いいたします。

「けんこうリンク」情報は

<http://www.ibasouken.org/>